

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送りがな

/5

四 熟語の構成

/6

五 部首

/6

六 対義語

/6

七 書き取り

/16

合計

/55

合格のめやす

39問(7割)

一

線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① 正月におもちをたべる。

しょうがつ

② じしんに備える。

そなえる

③ 黄色い花がさいた。

きいろ

④ 友だちが引っこして悲しい。

かなしい

⑤ あかいふくの子がいないている。

こ

⑥ 苦痛をかんじる。

くつう

⑦ あせを水で流す。

ながす

⑧ 道路で遊ぶのは危ない。

あぶない

⑨ 美術かんに行く。

びじゅつ

二

次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

⑩ お昼の放送で音楽がながれる。

ほうそう

⑪ この先生の専門は音楽だ。

せんもん

⑫ この石は大きいのに軽い。

かるい

① 栄

9

画

② 連

10

画

③ 東

8

画

④ 担

8

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① やくそくをわすれる。

忘れる

② もんだいをとく。

解く

③ よいおこないをする。

善い

④ まちがいをけしゴムでなおす。

直す

⑤ せかいの平和をのぞむ。

望む

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「く」を「く」にあたるもの(れい 読書)

① 表裏

イ

② 樹木

ア

③ 容姿

ア

④ 出欠

イ

⑤ 快適

ア

⑥ 貯金

エ

⑤ 財 (さい) 力 (かい)

④ 困 (こま) る

③ 固 (こ) 体 (たい)

□ (くにかまえ)

② 創 (そう) 造 (ぞう)

① 時 (とき) 刻 (こく)

リ (りっとう)

休 (やす) む

れい イ (いんべん)

五 部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

⑥ 貧 (ます) しい

六 反対の意味のことはを、「」からえらんで漢字で書きましょう。

れい 大きい ⇄ 小さい

① 主観 ⇄ 客観

② 最後 ⇄ 最初

③ 意外 ⇄ 当然

④ 正答 ⇄ 誤答

⑤ 良好 ⇄ 不良

⑥ 浅い ⇄ 深い

「さいしょ ふりよう きやつかん ふかい ごとうとうぜん」

七

——線のことばを、漢字で書きましょう。

① 紙を半分におる。

折

② みんなのいけんにさんせいする。

賛成

③ 電車のもけいを作る。

模型

④ アンケートでちようさする。

調査

⑤ こうえんに子どもがなんにんいますか。

何人

⑥ 水は生きるのにひつようだ。

必要

⑦ 新しいじようほうを知る。

情報

⑧ あの店はひようばんがよい。

評判

⑨ たんけんたいを作る。

隊

⑩ えんげいがしゅみです。

園芸

⑪ 世界しよこくをまわる。

諸国

⑫ お寺におまいりをする。

参

⑬ なべからじようきが出る。

蒸気

⑭ 長いぼうでとどく。

棒

⑮ しんぞうのうごきをしらべる。

心臓

⑯ としよかんでほんをかりる。

本

